

# みちしるべ

M i c h i

S h i r u

B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。

200号



3月  
定例会

◆ 全会計総額1,885億円  
平成29年度当初予算を可決 P2

◆ 常任委員会  
こんなことが話し合われました P10

◆ 一般質問  
市政のここが聞きたい P14

▲ 鯉のぼりのように大きくなるぞ！（高瀬川の鯉のぼり）



# 平成29年度当初予算を



まちの賑わい創出や子育て支援など、  
山形市発展に向けた予算を詳しく審査

## 主な新規事業

### 【総合スポーツセンター駐車場整備事業】 6億7,317万円

総合スポーツセンターの駐車場不足を解消するため、平成29年度から30年度にかけて敷地東側に駐車場を整備します。



### 【市街地再開発支援事業(七日町第5ブロック南地区再開発事業)】 6億5,146万円

市街地の魅力向上や街なか居住の促進を図るため、商業施設（セブンプラザ）を中心とした再開発事業への補助を行います。

### 【済生館病児保育事業】 1,870万円

市立病院済生館で、新たに病児・病後児保育事業を実施します。



### 【産後ケア事業】 827万円

退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポートなどを行い、産後も安心して子育てができる支援体制をつくります。

# 全会計総額 1,885億円



▲新たに病児・病後児保育事業を行う済生館

当初予算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

## 病院事業会計

139億1384万円

済生館の運営に要する経費です。閉鎖した8階西病棟に、新たに病児・病後児保育施設や脳卒中センターリハビリテーション分室の設置などを行います。

**委員** 病児・病後児保育施設の設置場所と受け入れ人数はどうか。また、利用料はどの

くらいになるのか。

**済生館管理課長** 1月1日に閉鎖した8階西病棟南側の6床部屋2部屋を、それぞれ病児保育、病後児保育施設として整備する。人数は、それぞれ1日3人までの受け入れを予定している。利用料は、すでに市内で実施している病児保育施設を参考に、1日2000円程度で検討している。

**委員** 脳卒中センターリハビリテーション分室は、どのような人員や設備で行うのか。また、どのような周知を考えているのか。

**済生館管理課長** 4月1日から理学療法士と作業療法士をそれぞれ1人増員して

スタッフを強化していく。設備は、閉鎖した8階西病棟の病室やナースステーションに機器を配置していく。脳卒中センターリハビリテーション分室は、入院患者の急性期リハビリテーションとなるため、**外来患者の利用は予定していない**ことから、特別な周知は考えていない。

総合スポーツセンター駐車場整備事業 6億7317万円

駐車場不足を解消するため、平成29年度から30年度にかけて、総合スポーツセンターの敷地東側に駐車場を整備します。

**委員** 総合スポーツセンターの駐車場整備の完了予定はいつ頃になるのか。

**スポーツ保健課長** 用地を購入して整備するスケジュールを進めていくが、**暫定として、平成30年6月頃に砂利敷での供用を開始したい**と考えている。

胃がんリスク（ABC）  
検診事業 1046万円

胃部エックス線検査と併用して、採血による検査で胃がんの危険度を判定し、医療機関への受診などを促すことで、胃がん発生の抑制を図ります。

**委員** 胃がんリスク検診は、まず血液検査をした上で、必要な方がエックス線検査を行うことで、特に高齢者へ

の負担が軽減されると思うが、両方の検査を行う理由は何か。  
**健康課長** 血液検査だけでは全てのリスクを検査することができないため、エックス線検査と併用することで、より精度が高まると考えている。

健康医療先進都市視察事業  
205万円

世界屈指の医療先進都市といわれるロチェスター市（アメリカ合衆国ミネソタ州）を訪問し、さまざまな課題や施策を探ります。

**委員** 日本とアメリカの医療制度には根本的な違いがあるが、ロチェスター市を視察する目的は何か。

**企画調整課長** ロチェスター市には、メイヨー・クリニックという医療の核となる施設があり、140カ国から年間130万人ほどの患者が来るなど、**医療インバウンドに先進的**であることや、**産業振興などの施策も含めて人口が増えている**点など、本市が目指す健康医療先進都市に向けた、今後の政策展開の参考にした

### 産後ケア事業

827万円

退院直後の母子に心身のケアや育児のサポートなどを行い、産後も安心して子育てができるよう支援します。

**委員** 産後ケア事業の概要はどのようなものか。

**健康課長** 病院で行う通所型として、シヨートステイ、デイケアや乳房ケアがあり、訪問型としては、乳房ケアやヘルパー派遣の家事援助がある。家族などからの支援を受けることができず、また、心身の



### ▲産後も安心な子育て支援体制を整備

**こども保育課長** 母子保健コーディネーターが相談のあったケースの情報を取りまとめ、保健センターの保健師と連携しながら、産後ケアの必要がある場合に紹介していく。また、保健センターから情報をもらうことで、先輩ママの家庭訪問が必要な方へアプローチしていくことも考えている。

不調や育児不安など、特に支援が必要な方を対象とし、母子保健コーディネーターや、赤ちゃん訪問事業などで、対象者と接する方の声がけなどによる周知を考えている。

### 先輩ママの家庭訪問支援事業 600万円

妊産婦などが抱える妊娠・出産や子育てに関する悩みについて、子育て経験者やシニア世代などが相談支援を行います。

**委員** 先輩ママの家庭訪問支援事業と産後ケア事業との連携を、どう図っていくのか。

### 市南部への児童遊戯施設整備事業 2525万円

市南部への児童遊戯施設の整備に向けて、測量設計とPFI導入可能性調査を行います。

**委員** PFI導入可能性調査は、現在の基本構想策定とは別に行うのか。

**こども保育課長** 基本構想策定業務の中では、事業手法の抽出まで行っている。PFI導入可能性調査は、入札により、新たに受託業者を決定して調査する。

### コミュニティセンター建設事業 3億4311万円

榎沢コミュニティセンターの改築工事を行うとともに、地下水熱を利用した空調設備や太陽光発電装置、蓄電池を設置します。

**委員** 榎沢コミュニティセンターでは地下水熱を利用した空調設備を設置することだが、普通に電気を使用した場合と比べて、どのくらいの効果を見込んでいるのか。



▲セブンプラザを中心とした再開発事業で賑わいを創出

**広報課長** 通常の空調設備と比較して、ランニングコスト

は電気使用料が年間約20万円の減、二酸化炭素排出量は年間約5860キログラム抑制できると試算している。

### 中心市街地活性化戦略推進事業 1470万円

中心市街地の将来的なビジョンを策定した上で、具体的な戦略を実施し、中心市街地の再生を図ります。

**委員** 山形市中心市街地活性化戦略本部と山形市中心市街地活性化プロジェクト本部を立ち上げることだが、そ

れぞれどのような役割を担うのか。

**山形ブランド推進課長** 戦略本部は、中心市街地のさまざまな課題への対策を検討・決定する機関として設置するもので、意思決定機関としての機能を有するものと考えている。プロジェクト本部は、戦略本部で検討・決定した事項を奨励する機関として設置するもので、課題を洗い出すための調査の実施や、ブランドデザイン策定に向けた素案の提案などの業務を担っていく。戦略本部とプロジェクト本部が車の両輪のように並列で、活性化に資する戦略を推進していく。



▲移住・定住の情報を発信するウェブサイト「リアルローカル」

移住・定住促進事業

1291万円

移住コーディネーターによる移住・定住の各種相談や情報発信を行うとともに、セミナーの開催やトライアルステイを実施します。

**委員** ターゲットは、東京都などの大都市を考えているのか。

**企画調整課長** 特に若い人から来てもらわないと出生率の向上も難しく、人口増にもつながらない。ターゲットは東京圏に限らず、リアルローカルといったウェブサイトを活用

用して、全国に情報を発信していきたい。

**委員** トライアルステイは、空き家の利用なども考えているのか。

**企画調整課長** ホテルに宿泊してもらうほか、空き家などを活用して宿泊してもらい、山形のいろいろな体験をしてもらうことを考えているが、空き家の活用には、旅館業法の問題などもあるため、現在検討中である。

空き家等対策推進事業

757万円

空き家バンクの活用促進、老朽危険空き家の除去への助成などを実施します。

**委員** 老朽危険空き家への対応は、今後どのようにするのか。

**管理住宅課長** 周辺へ被害を及ぼす恐れのある空き家は現在11件把握している。代執行も一つの手段として空き家等対策協議会で協議して、老朽危険空き家の解消に努めていく。

住宅リフォーム総合支援事業 1億3452万円

地域経済の活性化と住環境の向上を図るため、住宅リフォームを行った場合に助成します。平成29年度からは、移住世帯と空き家バンク登録物件利用世帯を優先して補助します。

**委員** 住宅リフォーム総合支援事業は、移住者と空き家利用世帯に対して、どのような補助をするのか。

**まちづくり推進部長** 移住世帯と空き家バンク登録物件利用世帯に該当する申し込みがあった場合に、抽選とせず補助していく。

テルサ入居団体駐車料金支援事業 2555万円

現在使用している花笠駐車場が有料化されるため、代替駐車場として山形駅東口交通センターを使用し、山形テルサ利用者に駐車料金の支援を行います。

**委員** 山形テルサから山形駅東口交通センターまではかなり

の距離がある。テルサ周辺の民間駐車場のサービス券を発行するなどの対応は検討しなかったのか。

**雇用創出課長** 駐車場の確保は、市の重要要望事項として県に申し入れ、協議してきたが、既存の民間駐車場も含めて収容量は足りているとの認識があり、さまざまな検討を重ねた結果、利用可能なのが山形駅東口交通センターということである。

合同企業説明会の開催 108万円

仙台市と連携して合同企業説明会を開催し、市内事業所への求人紹介の機会と就職者の増加を図ります。

**委員** 対象者はどのように考えているのか。

**雇用創出課長** 40〜50社の山形の企業から参加してもらい、平成30年3月の開催を予定しており、仙台市内の大学生や転職を考えている若年者などを対象と考えている。

24時間健康・医療相談サービス広報強化事業 992万円

24時間健康・医療相談サービスをより多くの方に知ってもらえるよう、広報の強化を図ります。

**委員** 今後の広報強化をどのように考えているのか。

**通信指令課長** マグネットを作成し全救急車に貼り出すとともに、出初式などの各種イベントでちらしを配布する予定である。また、シールを作成し、市の公共施設や市民が利用するトイレなどに貼ることで、広報を強化したい。



▲山形テルサ利用者へ駐車料金を支援する山形駅東口交通センター

\* トライアルステイ…移住を希望する方などが、実際に短期滞在して、住環境や地域住民との交流などの体験を通し、移住へのイメージづくりに活用する移住体験プログラム。

タブレット型パソコン  
導入事業 106万円

教育のICT化の推進のため、モデル校にタブレット型パソコンを導入します。

**委員** ICTタブレットが配備されるモデル校とはどこか。また、総合学習センターに配備されるタブレットはどのように使用されるのか。

**学校教育課長** 平成29年度にパソコンルームの機器の更新を予定している**第八小学校**と考えている。学習センターに配備する分は、**使用の目的に応じて各学校に貸し出したい**と考えている。

伝統的工芸産業後継者  
育成支援事業 140万円

伝統的工芸産業事業者が行う後継者育成経費の一部を支援するとともに、平成29年度からは職人と芸術やものづくりを学ぶ学生の交流事業を行います。

**委員** 内部に蓄積された伝統の力を伸ばしていくため、今後拡充させる考えはあるのか。

**山形ブランド推進課長** 新たな後継者育成事業として、ものづくりを学ぶ学生と伝統工芸の職人との交流会を企画しており、手始めとして少人数での開催を検討している。今後、学生がものづくりに興味を持ち、**自分のアイデアを製品化**するような動きが出てくる場合には、さらなる**拡充**を図っていきたい。

**防災ラジオ配備事業**  
1712万円

緊急時に自動起動し、避難情報などを放送する防災ラジオを土砂災害警戒区域内の町内会や自主防災会、希望する市民に配布します。

**委員** 市内13地区の土砂災害



▲自動で起動し避難情報を伝達する防災ラジオ

警戒区域に配備が拡大されるが、地区内の線引きはどうなっているのか。

**防災対策課長** ハザードマップの土砂災害警戒区域のエリアの中に家がある方が対象となる。

**障がい理由とする差別解消推進事業**  
295万円

障がいを理由とする差別解消の実現のため、啓発活動や相談体制の整備に取り組みます。

**委員** 啓発活動や相談体制を整備することのだが、具体的な内容はどのようなものか。**障がい福祉課長** 5つの取り組みを考えており、啓発活動として、**市民向けの講座の実施**、環境の整備として**ヘルプカードの普及と市職員向けの研修**、障がい者差別解消支援地域協議会の人数を増やして、いろいろな分野の方に参加いただき、**取り組み推進のための母体の強化**、地域での**ピアカウンセリングの相談員体制の推進**、市長記者会見の**手話通訳**などを考えている。

ふれあいバスの運行に要する経費  
744万円

ふれあいバスの運行管理業務を直営で行うための経費です。

**委員** ふれあいバスの利用方法が変わるが、**仙山交流のコース**とは、どのような内容なのか。

**生活福祉課長** 4月から基本的には県内のみの利用となるが、仙山交流のためのコースとして、**最上義光歴史館と青葉城資料展示館を結んだコース**を設定している。

放課後児童健全育成事業(委託料)  
5億9371万円

放課後児童クラブ70カ所の運営委託を行います。また、平成29年度から民間施設を利用して新設するクラブに対して施設等賃借料の支援を行います。

**委員** 放課後児童クラブへの施設等賃借料の補助の概要はどのようなものか。



▲仙山交流コースとなる最上義光歴史館

**こども福祉課長** 大規模クラブの分割を促進するため、**新規に開設するクラブの賃借料**などを補助する。29年度は2園に対して、**月額上限12万円の補助**を予定している。

**委員** これまで賃借料を支払っている放課後児童クラブとの公平性をどのように考えているのか。

**子育て推進部長** まずは、条例基準に適合させるため、今回は新設クラブへの補助となるが、今後、**他のクラブとの公平性が保たれるよう庁内合意**を図っていきたい。

※1 ヘルプカード…障がいのある方が災害時や日常生活の中で困ったときに提示し、必要な支援や配慮を周囲に求めるために携帯するカード。  
※2 ピアカウンセリング…同じ職業や障がいを持っているなど、同じような立場や悩みを抱えた人が集まって、同じ仲間として行うカウンセリング。



▲カラスの追い払いで活躍するハリスホーク

**猛禽類によるカラスの  
追い払い事業 64万円**

平成28年度に行った検証結果を受け、引き続きカラスの追い払いを実施します。

**委員** カラスの追い払いを実施した後の対策は考えているのか。

**環境部長** 一定の効果が見られたことから、今後も継続して効果的な追い払い手法などを検討していく。あわせて、市街地全体の生息数の約1割を目標とした駆除を行うなど、生態系の維持と被害状況を考慮しながら対応していく。

**マーケットに対応するための農業  
戦略の推進 212万円**

担い手・新規就農者の育成・確保および売れる農産物の生産や、効果的な農業経営を行うための農地集積などの戦略を推進します。

**委員** 平成28年度に農業戦略本部が設置され、29年度重点施策が示されているが、戦略農産物の団地化と新規就農者の育成・確保は、どのように反映されているのか。

**農政課長** 戦略農産物の団地化は、国の産地パワーアップ事業を利用し、新たに16棟の

セルリーのハウスを建てる予定であり、山形農協でも水田から新たに32棟のキュウリ、トマトのハウスを建てる予定である。新規就農者の育成・確保として4月に新規就農ワンストップ窓口を農政課に設置するとともに、新たに市外から本市に移住する新規就農者に対する家賃補助を予定している。

**都市計画マスタープラン  
見直し事業 925万円**

都市計画マスタープランの全体構想と分野別構想を踏まえ、地域ごとの特性や課題に対応した地域別構想の見直しを行います。

**委員** 地区別構想策定における地区との話し合いは、いつ頃から行うのか。

**都市政策課長** 3年間で市内25カ所にて実施する予定で、平成29年度は9カ所を実施したい。年間を通じて意見交換を行いながら策定していく。

**仙山圏交通網整備事業 328万円**

平成28年度に作成した交通網整備(案)の各項目の補足調査を行うとともに、学識経験者などとの意見交換を行い、整備推進に向けた機運の醸成を図ります。

**委員** 補足調査とは具体的に何か。また、専門家の意見を聞くとのことだが、どのような構成を考えているのか。

**企画調整課長** 専門家は交通

政策や技術的課題に詳しい方を想定している。有識者などと意見交換をしていく上で、さらに補足調査が必要と想定されるため、委託料を計上している。

**委員** 事業内容を市民に示すのはいつ頃か。トンネル化などは膨大な投資となるが、実際に投資に踏み出す方向性で考えているのか。

**企画調整課長** 平成29年度に有識者懇談会などを実施することにより、ある程度の方向性は出てくるものと考えており、方向性が出た後に市民アンケート調査などを行いたいと考えている。また、事業の実施は、事業主体の問題もあるため、方向性が出た段階で要望活動を行いながら理解が得られるよう努めたい。

**山形広域都市圏パーソントリップ調査実施事業 5698万円**

自動車や公共交通など、市民の日常の交通行動を把握するための調査をします。

**委員** 広域都市圏パーソントリップ調査の結果が出なければ、仙山圏における交通網整

備調査を活用できないと考えるがどうか。

**都市政策課長** 仙山交流の構築には、企画調整課のワーキングチームに入り、一緒に作業している。平成29年度以降のことはまだ示されていないが、パーソントリップのデータをどのよう<sup>に</sup>反映させるかを今後協議していく。

◆予算委員会において、平成29年度山形市一般会計予算が可決された後、同予算に対する附帯決議案が提出されました。この附帯決議案について提案者の説明を受けた後、採決した結果、賛成多数で可決されました。

附帯決議(要旨)

1. 人口増加、30万人達成、維持に向けた政策について、その手法、達成時期などについて市民への十分な説明を行い理解を得ること。

2. 山形市発展計画に位置づける、人口ビジョン「人口30万人」達成の一つの前提としている、「仙山線の高速化、安定化、東部幹線道路の整備」について2030年を見据え市民、関係者、関係機関と一丸となった取り組みをし、できるだけ早く年次計画を策定できるようにすること。

※ パーソントリップ調査…「いつ」「どこから」「どこまで」「どのような人が」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」動いたのかについての調査。

市民生活に直結する補正予算を可決  
ふるさと納税10億円超え

補正予算審査の中からいくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

ふるさと納税推進事業  
1億6476万円

フルーツの先行予約により寄付額が増えたことによる増額です。

委員 返礼品の種類はどのく

約などによると考えている。

らいあるのか。

山形ブランド推進課長 平成28年度当初は230品目だったが、現在は330品目に増えている。

委員 寄付額が飛躍的に増加した具体的な要因は何か。

山形ブランド推進課長 体験型などの返礼品の充実、首都圏をターゲットにしたPR活動、駆け込み需要に合わせた

平成29年産フルーツの先行予約

3月の主な補正予算  
一般会計 6億5,884万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- 除排雪等委託料 ..... 2億2,700万円
- ふるさと納税推進事業 ..... 1億6,476万円
- 民間立保育所運営委託料 ..... 4,620万円
- 小学校下水道切替事業 (村木沢小・大曾根小) ..... 4,360万円
- 山形県施行都市計画街路事業費負担金 ..... 4,200万円
- 山形県施行道路整備事業費負担金 ..... 3,824万円

国際観光推進事業  
600万円

山寺への外国人旅行者の誘客を促進するために、多言語案内歴史ガイドマップアプリの構築や山寺体験モニターツアーを行います。

委員 山寺体験モニターツアーの対象を中国と韓国に限定するのはなぜか。

観光物産課長 慈覚大師円仁にゆかりのある国として、中国と韓国に限定している。

委員 委託先と選定方法はどのうするのか。

観光物産課長 外国人旅行者の誘客促進が目的であるため、委託先は大手旅行会社、選定方法はプロポーザル方式を考えている。

生活バス路線維持費補助金  
3108万円

生活バス路線の赤字分をバス事業者へ補助します。

委員 赤字となっている11路線に、どのくらい補助しているのか。

委員 赤字となっている11路線に、どのくらい補助しているのか。

企画調整課長 収支比率は、一番低い路線で54.9%、高い路線で97.9%となっている。

総額1億2600万円ほどの経常経費に対して、9500万円ほどの経常収益となっており、その不足部分に対して赤字補填を行っている。

委員 赤字補填の支援はどこまで行うのか。

企画調整課長 利用実績を見ながら、生活する上で欠くことができない路線に対して赤字補填を行うっており、収支比率が何%を下回れば廃止となるような基準はない。

水田畑地化基盤強化対策事業費負担金  
1680万円

米の生産調整に伴う水田の畑地化に対し支援するため、各団体が行う転作水田の暗渠排水工事などに補助します。

委員 県が主体となって事業を行っているが、事業選定に当たっての市の役割はどのよ

委員 県が主体となって事業を行っているが、事業選定に当たっての市の役割はどのよ



▲市民の生活に不可欠なバス路線を維持するために支援

うなものなのか。

農村整備課長 JAや農業団体、県との調整や支援をしている。

委員 畑地化の今後の見通しをどのように考えているのか。

農村整備課長 この事業による水田の有効活用を図ってきたいと考えており、生産者と協議しながら今後も進めていく。また、戦略作物のセルリーやキュウリなどのハウス物の基盤整備などにも利用可能であるため、そのような部分も含めて活用していきたい。



▲下水道への切り替え工事を行う大曾根小

**委員** 村木沢小と大曾根小で最後になるが、工事がこの時

村木沢小・大曾根小の下水道切り替え工事を行います。

**小学校下水道切替事業**  
4360万円

**道路維持課長** 平成28年度は、**おおよそ1億数千万円**である。

**委員** 市道の凍結防止剤の散布は、年間どのくらいの費用が掛かるのか。

今後の降雪に備えるための除雪費を増額します。

**除排雪等委託料**  
2億2700万円

期になったのはなぜか。  
**教委管理課長** 平成23年度までに50校のうち42校の切り替え工事を完了していた。残り8校は27年度までに完了する予定であったが、**東日本大震災**などにより、**体育館のつり天井落下防止対策工事**などを優先したためである。

**小学校・中学校運動場高窓ガラス飛散防止対策事業** 616万円

蔵王三小・蔵王二中の屋内運動場の高窓に使用されている、普通ガラスの飛散防止のためのフィルム貼り付け工事を行います。

**委員** 工が必要な学校は、残り何校あるのか。

**教委管理課長** 南小学校、楯山小学校、千歳小学校の3校で、国の交付金を活用しながら順次進めていきたい。

**委員** 千歳小学校は改築予定だが、工事を行う必要はあるのか。

**教委管理課長** 屋内運動場は**既存のものを使用する**予定であるため、工事が必要となる。

**介護サービス基盤整備事業費補助金** 173万円

防犯カメラなどを設置する特別養護老人ホーム6施設に対して支援します。

**委員** 防犯カメラと指静脈認証出入り管理システムを、どのくらい設置するのか。

**長寿支援課長** 1施設が防犯カメラ5台と指静脈認証出入り管理システム、2施設が防犯カメラ3台、3施設が防犯カメラ2台を設置する。

**介護保険事業会計**  
2億1351万円

地域密着型介護サービス・施設介護サービスの利用者の増加により、介護給付費を増額します。

**委員** 地域密着型サービスが増えているとのことだが、今後どのように考えているのか。

**介護保険課長** 平成29年度に第7期介護保険事業計画が策定されるが、ニーズ調査により需給のバランスを検討しながら、**地域密着型の需給を見据えて計画を策定**していく。

## 議員研修会を開催



▲山形市のさらなる発展のために

平成29年2月13日に、一般社団法人山形県経済社会研究所所長で山形大学名誉教授の立松潔氏を講師に迎え、議員研修会を開催しました。立松先生は、昭和51年に山形大学教養部講師として赴任し、以後39年間にわたり

日本経済論や日本産業構造分析特論など多彩な講義を担当されました。

今回の研修会では、「転換期の地域経済と地方創生の課題」というテーマで、県内の若者の県外流出による人口減少の問題や経済停滞の推移、平成14年に全国2位の低さであった子どもの貧困率やワーキングプア率が、24年にはそれぞれ23位、12位に落ち込んでいることなど、データに基づいた具体例を示していただきながら、ご講演をいただきました。

## 6月定例会の日程 (予定)

6月15日(木)  
～6月30日(金)

日程は変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023(642)8404

総務 厚生

産業文教 環境建設

## 4つの委員会で

# こんなことが話し合われました!!



障がい理由とする  
差別の解消を推進

**委員** 条例の前文に「差別的な対応を受けていると感じている人」との表現があるが、実際に差別を受けているのであれば、この表現はふさわしくないのではないか。

**障がい福祉課長** 条例の制定に当たり市民から意見を募集した中で、差別と感じたこと、嫌な思いをしたこととして、91の事例が寄せられた。障がいに対する理解不足や誤解などにより、配慮のないまなざしや言葉などで差別を受けていると感じている事例があるため、前文に載せている。

**委員** 条例の前文に「障がいのある人もない人も、それぞれが歩み寄り」とあるが、障がい者はどう歩み寄るのか。  
**障がい福祉課長** 歩み寄りとは、障がいのある方も思っていることを発し、障がいのある人と接したことがない人も障がいを理解しようとする相互理解の意味である。

**委員** 事業者に努力義務が課されるが、対応要領を作る予定はあるのか。

**障がい福祉課長** 事業者を監督する各庁が対応指針を作っており、事業者はこれに基づき取り組みものとされている。

**委員** 明らかに不当な、差別的取り扱いを受けた場合の対応はどうするのか。

**障がい福祉課長** 状況を確認し、対応できる法的措置があれば、権限がある機関や指導ができる機関につき、対応していきたい。



消防団員の処遇を改善

**委員** 若年層の消防団員の確保のため、班員の報酬を年額1000円引き上げるとのことだが、もう少し金額を引き上げる議論などはなかったのか。

**消防本部総務課長** 災害リスクや社会環境、気候風土などが比較的類似している東北の県庁所在地の平均に近づける



▲地域住民の安全安心を守るため、訓練を行う消防団

法令違反の防火対象物の違反内容を公表

**委員** 法令に違反している施設の公表は、ホームページだけで行うのか。

**予防課長** 不特定多数の方が閲覧できるようにホームページで公表する。公表制度は、広報やまがたでの周知や関係機関、諸団体への直接の周知を考えている。

**委員** 公表は最終手段となるのか。  
**予防課長** 法律に違反しているものは、警告や命令、告発などの法律に基づいた手続きを行いながら、並行して安全



▲多くの子どもたちから親しまれた児童文化センター

情報の提供として公表する予定である。



教育

児童文化センターを廃止

**委員** 利用者への説明は十分に行ったのか。また、利用者の理解は得られているのか。  
**社会教育青少年課長** 地元の

**第七小学校、第四小学校へ説明**を行うとともに、校長会でも児童生徒への周知方をお願いした。利用者などからは特に問い合わせなどはなく、ご理解をいただいているものと認識している。

**委員** 4月1日以降の解体のスケジュールはどうか。  
**社会教育青少年課長** 霞城公園は史跡であるため、文化庁の許可が出てからの解体となる。上半期中に、関連する記念碑の移設も含めた解体を完了したいと考えている。

**市役所**



市役所

任期付採用制度の活用を可能に

**委員** 中核市移行をきっかけとして今回条例を制定することになったのか。  
**職員課長** 中核市移行に向けて、より専門的な職種が必要となるが、全国的に確保が困難な状況である。この制度では定年の適用も受けず、より幅広い人材を確保できることから今回制定することとなった。

**委員** 任期終了後に引き続き採用する場合の取り扱いはどうなるのか。  
**職員課長** 再度、競争試験や選考により任用することができ

**委員** 地縁関係を維持してきた集落の中に、新しい方が住めるようになることだが、地域コミュニティへの影響はないのか。

商工業

山形中央インテナー産業団地分譲用地の一部を売却

**委員** 流通系の企業が立地することで、産業団地内に大型トラックの出入りがあるとと思うが、周辺への影響や対策を行う必要はないのか。  
**雇用創出課長** 開発行為の中で、交通導線として信号機設置の必要性も警察と相談した。計画台数や隣接企業への振動などの影響がないかも含めて検討した結果、特段の対策の必要はないとの結論に至っている。

まちづくり

市街化調整区域内における開発行為の規制を緩和

**委員** 開発が可能となる集落区域はいつ頃公表するのか。  
**都市政策課長** 4月3日の正午にホームページへの掲載や、各コミュニティセンターで閲覧できるようにするほか、広報やまがたなど、さまざまな方法で周知することで、平等に情報が行きわたるようにしていく。

**都市政策課長** 周辺地区の方々から、人口減少などにより集落を維持していくことが非常に困難になっているため、規制を緩和してほしいとの要望を多数いただいている。このたびの規制緩和は、要望に対して、市の権限として可能な範囲で緩和を行うものであり、今後さらなる地域の魅力づくりが必要になる。

スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットで議会が視聴できます。お気軽にご活用ください。



ウェブサイト

山形市議会 中継

で 検索

みみより情報

上市市

やまがたワインバル2017 inかみのやま温泉

とき 7月8日(土)～9日(日)  
ところ 上山城周辺  
内容 県内外のワイナリーが一堂に会する大イベント。心地よい香りと豊かな味わいが自慢の“かみのやま産のワイン”をお楽しみいただけます。

問い合わせ先 上市市観光物産協会 ☎672-0839

山辺町

ラベンダー祭り

とき 6月上旬～約1カ月間  
ところ 山辺町玉虫沼農村公園「かおりの広場」  
内容 紫色のかわいらしい花が咲き誇り、皆さんのお越しをお待ちしています。また、大好評の「ラベンダーソフトクリーム」の販売も行います。

問い合わせ先 玉虫沼農村公園管理棟 ☎666-2701

中山町

ほんわ館 春の本フェス

とき 5月14日(日)  
午前10時～午後7時  
ところ 中山町立図書館 ほんわ館  
内容 本の世界の料理教室 Part 3、スペシャルお話し会 ブックカフェ

問い合わせ先 中山町立図書館ほんわ館 ☎662-6688  
中山町教育委員会教育課 ☎662-2235

## 請 願

3月定例会で審議された請願は、新たに提出された3件です。各委員会での審査結果は以下の通りです。  
(※印は意見陳述が行われたものです。)

件名	提出者	紹介議員	所管委員会	結果
第1号 新規	免税軽油制度の継続について 東北索道協会 山形地区部会 部会長 岡崎宏一 ほか1人	小野 仁 武田 聡	総務	採択
第2号 新規※	「農業者戸別所得補償制度」の復活を求めることについて 山形地方農民連 会長 吉田吉弘	阿曾 隆 川口 充	産業文教	採択
第3号 新規	特定複合観光施設（IR）区域の整備の推進に関する法律（カジノ解禁法）の廃止を求めることについて 新日本婦人の会山形支部 支部長 石山初子	齊藤 栄 小野 治 今野 仁 野 誠	総務	採択

●議決の結果は、13ページ「議案の賛否一覧表」をご覧ください。

## 意見書(要旨)

3月定例会で可決された意見書は4件です。いずれも関係機関に送付しました。

地方議会議員の選挙運動期間中のビラの頒布を可能とする公職選挙法改正を求める意見書

地方議会議員選挙は、ビラの頒布は禁止されている。政策を有権者が十分に判断し選択することが難しく、地域活

力の低下の要因にもなっている。よって、法定ビラの頒布を地方議会議員選挙においても可能とするよう要望する。

特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（通称・IR推進法）に反対する意見書

特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律は、カジノ施設の設置による社会的影響や諸課題に、議論を尽くし、国民的な理解が得られたとは言い難い。よって、同法律を廃止するよう要望する。

## 免税軽油制度の継続を求める意見書

スキー場産業は、ゲレンデ整備車等に使う軽油が免税となっており、制度がなくなれば、経営維持が困難となり、地域経済にも影響を与えることとなる。よって、免税軽油制度を継続するよう求める。

## 農業者戸別所得補償制度の復活を求める意見書

平成25年度までは農業者戸別所得補償制度がとられ、稲作農家を支えてきた。26年度から経営所得安定対策に替わり、離農が加速し、地域が疲弊している。よって、同制度を復活させることを求める。

## 請願の処理状況(要旨)

平成28年9月定例会で採択・送付された請願、工事発注時期の平準化について、市長から次のような処理の経過と結果が報告されました。  
◇年度当初に事業が少なくなることや、工事完成時期が年度末に過度に集中することを

避けるため、早期発注や債務負担行為などを適切に活用し、より一層の施工時期等の平準化に努めます。

## 人事案件

### 監査委員の選任に同意

監査委員のうち、1人の任期が3月31日で満了することに伴い、次の方の選任について全会一致で同意しました。  
玉田 芳和氏（薬師町）

### 固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、1人の任期が3月25日で満了することに伴い、引き続き同氏の選任について全会一致で同意しました。  
伊藤 一雄氏（久保田）

### 小白川・関沢・山寺下組財産区管理委員の選任に同意

小白川・関沢・山寺下組財産区管理委員の任期が3月31日で満了することに伴い、次の方の選任について、全会一致で同意しました。

### 【小白川財産区管理委員】

高嶋 秀雄氏（小白川町）  
佐藤 紘氏（小白川町）  
会田 彦夫氏（小白川町）  
荒井 征之介氏（小白川町）  
今野 久仁正氏（東原町）  
佐藤 善紀氏（小白川町）  
安達 昭市氏（小白川町）

### 【関沢財産区管理委員】

伊藤 勲氏（関沢）  
岡本 健三氏（関沢）  
長沼 正美氏（関沢）  
平澤 一幸氏（関沢）  
佐藤 好美氏（関沢）  
市川 幸博氏（関沢）  
渋谷 俊一氏（関沢）

### 【山寺下組財産区管理委員】

布施 秀雄氏（山寺）  
柏倉 順一郎氏（山寺）  
伊澤 伸一氏（山寺）  
布施 修氏（山寺）  
矢萩 太郎氏（山寺）  
布施 新一氏（山寺）  
矢萩 久義氏（山寺）

### 最上川中部水道企業団議会議員に2議員が当選

最上川中部水道企業団議会議員の任期が3月31日で満了することに伴い選挙した結果、伊藤美代子議員と長谷川幸司議員が当選しました。



# 市政のことが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。3月定例会では、2月28日と3月1日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



## 入学準備金の3月支給実現を LGBTの正しい知識は学校教育から

伊藤美代子 議員

Q 就学援助制度の入学準備金の支給を6月から3月に変更する自治体が増えているが、本市も変更してはどうか。

A 他市町の状況などを調査し、どのような制度見直しや運用が可能か検討したい。

Q ひとり親家庭の貧困は、

養育費の未払いが多いことも原因の一つだと考える。民法の改正で、離婚届に養育費や面会の取り決めの記入欄が設けられたことへの市長の考えはどうか。

A 面会交流・養育費の取り決めを行うよう明文化され、その趣旨を周知するためのもので認識している。

Q 社会的無理解や偏見に苦

Q 親子断絶防止法案が国会で審議されているが、虐待を受けた子どもなどが親との面会を希望するのかわという視点が欠けていると思う。この法案をどう考えているのか。

A 子どもと保護者の安全が担保される、特別の配慮が必要だと考えている。

護教諭など複数の相談者がいることで、本人や保護者が相

Q 親子断絶防止法案が国会で審議されているが、虐待を受けた子どもなどが親との面会を希望するのかわという視点が欠けていると思う。この法案をどう考えているのか。

A 市立学校で相談を受けることはほとんどないが、学校では多様性を尊重する心情や姿勢を育てること、担任や養護教諭など複数の相談者がいることで、本人や保護者が相

質問者

質問の要旨

伊藤美代子  
(市民連合山形市議員)

山形市を選んだ理由、人権を守る立場から、観光振興に向けて

小野 仁  
(緑 政 会)

市長の公約、健康医療先進都市の考え方、各種計画、山形市公共施設等総合管理計画ほか

斉藤 栄治  
(市民連合山形市議員)

地域医療・福祉、子育て、地域活性化策、都市計画道路見直しへの対応、中核市への円滑な移行に向けた専門職の確保ほか

松田 孝男  
(公明党山形市議員)

都市間交流の活性化、蔵王関連、マイナバーカード、スポーツ施設、健康医療先進都市を目指すには

丸子 善弘  
(翔 政 会)

県都山形市のスポーツ施設、地方卸売市場の指定管理者制度導入、山形市立商業高校、最上義光・義姫

佐藤亜希子  
(日本共産党山形市議員)

子どもの育ちと学びを守るために、福祉専門職への支援を厚く、高齢者の外出支援

田中 英子  
(翔 政 会)

子どもの教育、蔵王観光、産後ケア事業、健康医療先進都市にむけて、育児・介護休暇の取得状況

菊地健太郎  
(翔 政 会)

鳥居忠政の評価、御殿塚整備の今後、整備新幹線、中心市街地活性化協議会と中心市街地活性化戦略本部

●一般質問は内容を要約して掲載しています。また、議会ウェブサイトでも録画映像がご覧いただけます。

※ LGBT…女性同性愛者（レズビアン）、男性同性愛者（ゲイ）、両性愛者（バイセクシュアル）、性別越境者（トランスジェンダー）の英語の頭文字をとった総称。



▲図書館と地域交流の機能を持つ「ぎふメディアコスモス」



小野 仁 議員

## 文化施設の融合施設を 整備せよ



▲外国のクルーズ船の乗客も観光誘客の対象に

**Q** 市長にとつての公約とは何か。また、平成23年時の公約との違いはあるのか。

**A** 選挙の際、その役職に就任した時に取り組むことを有権者に伝えるものであり、大変重要なものと考えている。以前に掲げた公約と基本的に考えは同じだが、市民の意見を聞き、考えが具体的になったことで直した部分もある。

**Q** 人口の見通しを大きく掲げている意図は何か。

**A** リーダーが大きな目標を掲げることで、それに向けて職員意識も変わり、組織と

**Q** 都市計画マスタープランの見直しで、スプロール化を防ぐ視点はあるのか。災害危険区域への規制は示すのか。

**A** 市街化区域や市街化調整区域内の既存集落の特性や状況に応じ、人口密度の維持と向上を図り、乱開発やスプロール化とならないよう定めていく。居住の適地への誘導が目的のため、法令で制限のある保安林や農振農用地、土砂災害特別警戒区域などは規制緩和の区域から除外する。

**Q** サッカースタジアムなども含めた体育施設の整備に当たり、公共施設等総合管理計

**Q** 障がい者差別解消の推進に関する条例制定に向け、市民

**A** パンフレットなどの作成も含めた効果的な取り組みを調査研究していく。

**Q** 蔵王「さん」か「ざん」か、名称の結論を出す時期であると思うがどうか。

**A** 「ざおうさん」への改名は、関係する全ての市町からの申請があれば行うことができると確認しているため、関

**Q** 中心市街地の空き家の利用促進のために、助成制度を設けるべきではないか。

**A** 平成29年度から空き家バンク登録物件の不用家財処分費など、転入者が登録物件を取引した際の仲介手数料の助成を実施したい。

**Q** 中心市街地新規出店者サポート事業の対象区域を拡大してはどうか。

**A** 中心市街地内の空き店舗の解消状況をみながら、今後の検討課題としたい。

談しやすい学校づくりを推進する必要がある。また、文部科学省の通知を中心に、適切な支援体制や外部機関との連携など、教職員全体で共通理解をしていくよう進めていく。

**Q** 本人からの申し出で、保険者がやむを得ないと判断した時は、保険証にある性別の表記方法を工夫してもよいと

の考えが厚生労働省から出されていることを、市のホームページで周知してはどうか。

**A** 適切にお知らせするよう、提案も含めて検討していく。

**Q** 児童への性被害をなくすには子どもへの教育・啓発が不可欠であるため、分かりやすいパンフレットを作成してはどうか。

画の基本方針やファシリティマネジメントの視点をどのように取り入れていくのか。

**A** 今後も株式会社モンテディオ山形の動向を注視していく。公共施設等総合管理計画による公民連携での取り組みとして、施設の運営方法の見直し、民間活力など整備手法の工夫などを基本としていく。

**Q** 酒田港や仙台港へ寄港する外国のクルーズ船の乗客を本市のインバンド観光誘致の一つとして取り入れてはどうか。

**A** 観光振興推進の上で重要な施策であるため、着地型旅行商品の企画提案などをDMOとして取り組んでいく。

**Q** 意見をどう取り入れるのか。

**A** 障がい福祉関係者の他に、自治組織や経済労働団体などの幅広い方々による差別解消支援地域協議会を設置し、地域や各分野における障がい者差別解消を推進していく。

※1 スプロール化…無秩序に都市が拡大していく現象。  
※2 ファシリティマネジメント…少ないコストで最大の効果を出せるように土地や建物などの経営資源を総合的に管理・活用すること。



## 地域で安心して生活できる 医療・福祉の支援体制を

齊藤 栄治 議員

**Q** 地域包括ケアシステムの進行状況はどうか。

**A** 多機関連携による退院支援のルールづくりの推進や地域での支え合い体制の構築、福祉まるごと相談員の配置など、地域包括ケアシステムのさらなる拡充に向けて積極的に取り組んでいる。



▲地域包括支援センターの圏域設定の見直しを

**Q** 東沢地区と鈴川地区で1カ所の設置となっている地域包括支援センターを鈴川地区へ新たに設置してはどうか。

**A** 鈴川地区の高齢者人口が5200人を超え、今後も増加が見込まれるため、第7期

介護保険事業計画で圏域の見直しを進める予定である。

**Q** 安全で安心な薬物療法を提供するため、患者の検査値と身体情報の一部を院外処方箋に表示してはどうか。

**A** 個人情報情報の慎重な取り扱いや調剤薬局との調整などの課題も多くあるため、情報収集するとともに、厚生労働省のガイドラインなどに従って適切に対応していく。

**Q** 養護教諭の資格所有者を積極的に採用し、保育所での気になる子どもへの支援体制を構築してはどうか。

**A** 養護教諭の専門性を活用することも含めた支援体制を検討していく。

**Q** 山形テルサや総合スポー

**Q** やまがたし健康ベネリッジ事業を評価はするが、本市独自の特典を検討し、事業を充実させるべきだと思いがどうか。

**A** 本市独自の特典は、効果などを鑑み検討していきたい。

**Q** ヘルプカードを導入し、支援の必要な方が安心して生活できるようにすべきだと思

ッセンターを拠点としたジョギング・ウォーキングコースを設定してはどうか。

**A** 今後、先進事例や必要性に応じて調査検討していく。

**Q** 芋煮会シーズンに、馬見ヶ崎川河川敷へ衛生的なトイレを設置してはどうか。

**A** 上下水道設備などを利用したトイレが設置できる場所を調査するなど、仮設トイレの水洗化を計画的に推進し、環境改善を行いながら利便性を向上していく。

**Q** 都市計画道路の見直しにより、千歳橋釜山線が廃止される場合の代替策を示してほしいがどうか。

**A** 低未利用地や河川堤防を有効活用した道路整備の検討など、代替策を地域の方々と

**Q** うがどうか。  
**A** 障がいのある方が安心して生活できるよう、平成29年度中の導入を予定している。障がいのある方への理解を深めていただき、さまざまな場面で活用されるよう周知していく。

**Q** 防災ラジオを対象区域外の市民にも配付すべきだと思

協議し、都市計画道路廃止に対する理解を得た上で、都市計画決定の変更を行っていく。

**Q** 中核市移行に向けて、専門職確保は重要課題である。県に支援を求めているがどうか。

**A** 中核市移行後の円滑な運営のため、保健所などの高度かつ専門的知識を要する業務については、人的支援などの要望を県に強く求めている。

**Q** 重粒子線がん治療施設の設置による、治療を必要とする市民へのメリットは何か。

**A** 身近なところで最先端の医療を受けられる環境が整うことがメリットである。市民の治療施設利用への支援策は、先行している他の自治体の例を参考に、山大医学部とも協議しながら検討していく。

**Q** うがどうか。  
**A** 今後も継続して検討していく。

**Q** 北海道新幹線の開通、空路復活などにより北海道との交流人口の増加が期待できることから、文化交流を深めてきた函館市と友好姉妹都市の協定締結を想定しながら、交流を拡大してはどうか。



## 支え合う心で生きがいと 安心の山形を目指せ

松田 孝男 議員

**Q** 鹿児島市で実施している高齢者いきいきポイント推進事業のような制度を導入してはどうか。

**A** 高齢者ボランティアは生きがい作りや介護予防にもつながるため、ボランティアポイント制度の実現に向けて検討していく。

※1 高齢者いきいきポイント推進事業…高齢者が健康診査の受診や介護保険施設などでボランティア活動を行うと、ポイントが付与され、貯まったポイントを交付金に転換することができる制度。

※2 対象区域…災害による避難が予想される融雪型火山泥流避難区域・土砂災害警戒区域・浸水想定区域。



▲義光公の魅力発信で、大河ドラマの誘致を



丸沼 善弘 議員

## 県都山形にふさわしい スポーツ施設の充実を



▲ベニレージも貯まるいきいき100歳体操で健康づくり

**Q** ソフトボールは中高生や一般、シニアなど各種大会があるが、

**A** 函館市は外国人観光客が年間39万7000人と極めて多く、新幹線を利用して東北に来るといった新たな流れも考えられる。そのような方向性も考慮しながら、函館市とのつながりを深めていきたい。

**Q** 地域活性化の拠点となる、重点道の駅や全国モデル道の駅を目指すべきだと思うがどう

**A** 函館市は外国人観光客が年間39万7000人と極めて多く、新幹線を利用して東北に来るといった新たな流れも考えられる。そのような方向性も考慮しながら、函館市とのつながりを深めていきたい。

**Q** 卸売市場の施設は、市が責任を持つて改修することを約束するとともに、指定管理者制度導入に向けた検討を早期に再開してはどうか。

**A** 市が深く関わりを持ち、早急に市場の施設改善ができるように努めていく。また、事業者が組織する指定管理者導入検討会に、市と協議する窓口として新たな担当者が専

**Q** 霞城公園内にあるソフトボール場は、霞城公園整備計画により平成30年まで使用可能となる見込みであるが、撤去後の機能は総合スポーツセンター多用途広場などに振り替えることとしている。

**A** 霞城公園内にあるソフトボール場は、霞城公園整備計画により平成30年まで使用可能となる見込みであるが、撤去後の機能は総合スポーツセンター多用途広場などに振り替えることとしている。

**Q** 山形商業高の校舎改築を進めるに当たり、生徒の教育環境を第一に考え、教育活動への影響がないようにすべきだと思うがどうか。

**A** 改築時に使用できなくなる野球場の代替施設を確保するなど、良好な教育環境の確保を第一に考えて進めていく。

**Q** 組織の活性化や教員の資質を向上させるため、山形商業高と県立高校との積極的な人事交流を行ってはどうか。

**A** 今後も、県教育委員会と連携を取りながら、人事交流の活性化に努めていく。

**Q** 山形商業高ソフトボール部は自校のグラウンドではなく、あかね丘公園で練習している。校舎の改築時に、ソフトボール用のグラウンドを新たに確保することはできないのか。

**A** 限られた敷地での整備となるため、現在ある施設の再整備を原則としているが、関係者からの意見や要望を踏まえて部活動への影響を減らすための手だてを検討していく。

**Q** 最上義光公と義姫の人生はストーリー性が強く魅力的である。2人を主人公とした大河ドラマの誘致活動に取り組んでどうか。

**A** 県や関係団体と連携を取りながら最上義光公や義姫にまつわる史実を発信し、大河ドラマ誘致への機運が高まるよう取り組んでいく。

※1 重点道の駅…地域活性化の拠点となる優れた企画で効果的な取り組みが期待できる道の駅を国土交通省が選定して支援する制度。  
 ※2 全国モデル道の駅…地域活性化の拠点として特に優れた機能を継続的に発揮している道の駅を国土交通省が選定して支援する制度。  
 ※3 ミヤマカスミザクラ…ミヤマザクラとカスミザクラが自然交配した新種の桜。平成24年8月に世界に1本だけの桜として命名された。



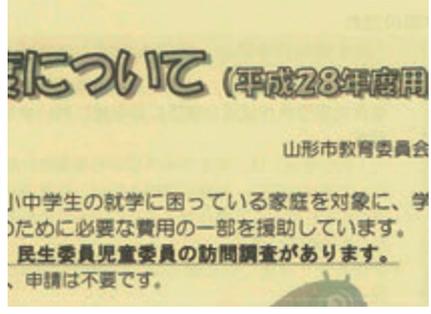
### 子どもたちの育ちと 学びを守る取り組みを

佐藤亜希子 議員

Q 就学援助の申請時に民生委員・児童委員の訪問を行う自治体と行わない自治体とでは、援助率に差がある。民生委員・児童委員の訪問をなくすべきだと考えるがどうか。

A 民生委員・児童委員は児童の福祉の増進を担っており、就学援助児童生徒を地域で支えることにもつながるものと考えている。実態を把握しながら就学援助の適切な運用に努めていきたい。

▲山形市の援助率は国平均の約3分の1



〔就学援助制度について〕保護者への案内より



### 悪質なネット社会から 子どもたちを守れ

田中 英子 議員

Q 安全なインターネット利用に向けた対策を学校ごとに実施しているが、市で一定のアウトラインを定めて、情報共有すべきではないか。

A 総合学習センターで情報モラル教育の基本となる「育てよう情報モラル」を作成しており、この内容を各学校で共有すべきではないか。

ととられても仕方がないように感じる。訪問の表記を特に強調している理由は何か。

A 民生委員・児童委員が突然訪問することがないように、保護者の方々にご理解をいただくため、連絡する意味合いで表記している。抑制を目的としているものではない。

Q 入学準備金の支給額に準要保護世帯も含め、国の補助単価は最低限守り、市としてさらに上乗せしてはどうか。

A 当該世帯の状況を把握するとともに、他の自治体の状況を調査検討していきたい。

Q 原発事故による避難者への就学援助の継続を国に働き掛けてはどうか。国の施策が

実情に応じて計画的に指導している。保護者の研修や家庭でのルールづくりなど、保護者と学校が連携した主体的な取り組みを支援していく。

続かない場合は、市独自で継続する姿勢を示すことで、避難者の安心につながると考えるがどうか。

A 国庫補助が打ち切られるということは聞いていない。そのような場合には、状況に応じて検討していく。

Q 保育料や医療費に続く子育て支援の一環として、給食費無償化を実施してはどうか。

A 保護者が負担する給食費負担金は、平成29年度予算で約9億8800万円であり、完全無償化は難しい。しかし、対象を絞って実施している自治体などもあることから、内容を調査していきたい。

Q 福祉専門職は他職種と比べて所得が低く、人材不足が問題になっている。家賃補助

A 高齢者をはじめ、市民へのインターネット利用におけるフィルタリングの必要性などを、広報やまがたや市ホームページに掲載して呼びかけている。また、学校便りなどを通して地域住民へ町内会などの回覧板でもお知らせしている。今後も関係機関や関連団体と連携を図りながら、啓発に努めていく。

の制度を創設することで処遇改善と離職防止につながると考えるがどうか。

A 介護職員を対象に市外の人材や新規卒卒者を確保するために家賃補助制度を行っている自治体があるため、今後、介護施設などと協議しながら、必要性を研究していく。

Q 母子父子自立支援員と女性相談員は嘱託職員1人が兼任している。相談内容が多岐に渡っており、貧困問題の対策としても人員を増やして対応すべきと考えるがどうか。

A 31年度からの中核市移行において、県から、ひとり親家庭の相談業務に係る母子父子寡婦福祉資金の貸付業務全般が権限移譲されるため、中核市移行に向けた相談体制を強化していく。

Q 南沼原小学校建設の年次計画の進行状況はどうか。

A 平成28年度に児童数推計調査、改築方針などの検討を行い、29年度は耐力度調査や地質調査を行う。また、PFI導入可能性調査を行い、基本構想をとりまとめている。

Q 蔵王を世界に誇る観光地にするため、樹水を温暖化防



▲外国人観光客も多く訪れる山形屋台村ほつとなる横丁



菊地健太郎 議員

## 100年、200年先を見据えた山形市発展のために



▲温暖化現象で形成されにくくなっている蔵王の樹氷

**Q** フル規格新幹線の整備の必要性をどのように考えているのか。

**A** 首都圏と本市を結ぶ交通の時間短縮は、交流人口の拡大や市民の利便性向上のために大変重要であり、その手法の一つであると考えている。

**Q** 中心市街地活性化協議会と中心市街地活性化戦略本部の役割の違いは何か。

**A** 協議会は国の法律に基づく組織で、短期的な基本計画に基づき中心市街地の拠点整備を進めることに主眼がある。戦略本部は市独自の組織で、

**Q** 中央公民館のコミュニティセンター化に取り組んでいるのか。

**A** 市街地公民館のコミュニティセンター化の方向性や課題を整理しながら長期的に検討していく。

**Q** 台南市との交流をどのように考えているのか。

**A** 教育・文化・スポーツでの交流や互いの観光を通して

**Q** DM Cやまがたでは、どのような事業に取り組む、採算を見込んでいるのか。

**A** 地域の旅行商品販売やエリア免税店事業、海外を中心とした特産品販売などにより利益を上げる計画である。

**Q** 主要な交差点に英語併記の交差点名称標識を設置しているのか。

**Q** 本市へのサッカースタジアム建設実現に向けて、建設候補地や財政支援策などを示すべきだと思うがどうか。

**A** チーム運営やサポーターにとって望ましい施設になることが第一であり、引き続き株式会社モンテディオ山形の動向を注視しながら、情報収集に努めていきたい。

**Q** 飲食店やお土産店を組み合わせた屋台村を、蔵王温泉に設置してはどうか。

**A** 増加している外国人観光客の満足度の向上や温泉街の賑わい創出のため、関係団体と協議検討していく。

止のシンボルとしてPRし、誘客につなげてはどうか。

**A** 樹氷の希少性と環境との関連性などを樹氷観光推進のテーマに取り入れることで、より自然環境に関心を持って蔵王を訪れていただけるよう、誘客に努めていく。

**Q** 蔵王にある白洲次郎氏の山荘ヒュッテ・ヤレンを新たな観光資源として活用してはどうか。

**A** 白洲次郎氏の想いや蔵王温泉スキー場の礎を築いた功績などを広く伝え、蔵王の観光資源としての可能性を、関係者と継続して協議していく。

**Q** 4月から実施する産後ケア事業はどのような支援を行うのか。また、何割程度を補

助するのか。

**A** 通所型サービスとしてショートステイ、デイケアや乳房ケア、自宅訪問型として乳房ケアやヘルパーなどの派遣を行う計画としている。自己負担は食費などの実費程度とし、ショートステイやデイケアは1割、乳房ケアやヘルパーなどの派遣は2割から3割程度の負担を考えている。

**Q** 済生館の脳卒中センターリハビリテーション分室の人材確保と患者の受け入れ体制をどのように考えているのか。

**A** 4月から理学療法士と作業療法士の増員を予定している。脳卒中センターとして急性期リハビリを充実することで、回復期リハビリ病院など、地域の医療機関との連携を一層強化していきたい。

**A** 各道路管理者や警察などと連携を図りながら、観光客にも分かりやすい英語併記の標識設置を推進していく。

※1 白洲次郎氏…東北電力の初代会長就任時代に蔵王を「東洋のサンモリッツ」にしようという構想を立て、蔵王の山岳ロープウェイの建設にも尽力し、現在の蔵王温泉スキー場の礎を築いた。  
 ※2 高度化事業…中小企業者が共同で事業環境の改善や経営基盤の強化に取り組む場合に必要となる資金を、中小企業基盤整備機構と都道府県が一体となって支援する制度。

中核市になると、県から保健所業務や、市が受け付けて県が認定していた身体障害者手帳の発行手続きなどの事務の権限が移譲され、市の窓口で一括して行うことができるようになり、事務手続きの迅速化が図られるなど、市民ニーズに即したきめ細かな行政サービスの提供が可能となります。

また、現在、県からの移譲事務の確認・検討と合わせて、市独自の施策展開が工夫できるよう、全庁的に検討を行っております。

今後は、霞城セントラルに整備予定の保健所拠点施設と、(仮称)山形市動物愛護センターの整備を進めながら、組織要員体制の構築・業務体制の整備を図るなど、中核市への移行に向けて準備を進めていきます。

なお、山形市議会では、平成29年度後期に中核市指定申出について議決し、30年度後期に提出された条例の議決を行う予定です。



【独自効果を検討している主な事例】

- ・健康課と保健センターを市保健所の組織として統合・再編し、保健衛生に係る市民サービスを一体的に提供する体制の構築
- ・犬猫の収容等業務に、動物愛護の観点を付加した「(仮称)山形市動物愛護センター」の建設
- ・歴史・文化の継承や市街地活性化を視野に入れた、屋外広告物の規制や新たな景観条例の策定 など



はながたベニちゃんの

教えて!! 議会あれこれ

Q 政務活動費ってなんだベニ?

A 議員が、市政の課題や市民の意見を把握するために必要な調査や研究をしたりするときの経費のことだよ。交付額は1人月額10万円で、例えば、先進事例の調査研究や市政報告会で市民の皆さまからの意見や要望をお聞きしたり、市政の現状をお知らせすることなどに使うことができるんだ。

年に1回、4月末までに活動報告書などの書類と領収書を収支報告書にまとめて、提出しているよ。

副委員長 佐藤亜希子  
委員 高橋 昭弘  
委員 洪江 朋博  
委員 仁藤 俊

市議会報は次号から新しいメンバーでお送りします。今後もぜひ山形市議会にご注目ください。

議会報委員長 佐藤亜希子  
副委員長 高橋 昭弘  
委員 洪江 朋博  
委員 仁藤 俊

近年、インターネット中継や「みちしるべ」へのリニューアル、ディスプレイを使った質問、電子投票など、より分かりやすい議会へと工夫が行われてきました。今後も議場見学会・演奏会や、対面式の質問席の導入が予定されています。

やまがた市議会報は本誌で200号。50年の歴史を刻みました。

現在のメンバーで発行する最後の号となりました



▲左から仁藤、武田(新)、佐藤(旧)、高橋(昭)、洪江委員

政務活動費収支報告書を  
公開しています

平成29年3月から、平成27年度分の政務活動費収支報告書を市議会ウェブサイト内で公開しています。なお、平成28年度分は、準備が整い次第公開します。

政務活動費の手引を  
見直しました

政務活動費のより適正な運用を期し、その透明性の確保を図るため、政務活動費の取り扱いに関する手引を見直しました。引き続き、より適正な運用となるよう検討を行ってまいります。